

彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, June, 2010

課長：佐藤 裕久 *H. Sato*

幹事：村岡 健治 *K. Muraoka*

幹事：下元 繁男 *S. Shimomoto*

○6月の状況 (佐藤)

☆ C/2009 R1 (McNaught) (写真 a, b)

6月5日 0:00、宮城県栗原市の高橋俊幸氏は、彗星課メーリングリスト (以下 oaa-comet ML という。) に「…C/2009 R1(マックノート)は、どんどん明るくなっています。ダストテイルもはっきり写ってきました。…」とのコメントと位置観測報告があった。

6日 16:48、長野県長野市の大島雄二氏から、oaa-comet ML に「C/2009 R1 ですが、今朝の観測で 5.7 等と計測しました。コマの大きさがグンと大きくなりましたね。当方の画像でも 1 度以上の尾が写っています。月明かりのこと、光害のことを考えると、10 日以降はもう寝てられなくなりそうです。今朝の画像もブログにアップしました…」のコメントと位置観測報告があった。

7日 15:48、高橋俊幸氏から、同じく「…C/2009 R1 (マックノート)は、皆さんのおっしゃる通り急増光してますね。今朝、筒を向けたら一気に 6 等台前半に達しており、びっくりしました。イオンテイルも複雑な様相を呈しています。6月8、9日の NGC 891 とのランデブーも楽しみです…」とのコメントと位置観測報告があった。

12日 01:31、筆者から同じく「その後、C/2009 R1 の眼視観測です。すべて自宅での観測です。10日午前 2 時は、低空がもやって見づらかつ

たのですが高度が高くなるにつれて周辺の星もハッキリ見え、視野内の M34 の星々も増え始め、薄明前がかすかに尾も確認できました。ここしばらくは晴れ間がなく観測できないかもしれません」とのコメントと眼視観測報告をした。

15日 21:17、大島雄二氏から、同じく「C/2009 R1 ですが、また明るくなって尾も少なくとも 3 度くらいは伸びているようです…」のコメントと位置観測報告があった。

17日 7:01、岩手県奥州市の酒井栄氏から C/2009 R1 (McNaught) 画像が送られてきた。「朝方は、どうしても霧が出て困ります！昨年までこんな天気は、なかったように思います」とのこと。それでも約 2% ほどの尾が延びていた。

19日 0:16、高橋俊幸氏から、oaa-comet ML に「C/2009 R1(マックノート)の光度は、頭打ちのようですがイオンテイル、ダストテイルとも濃くなっています…」とのコメントと位置観測報告があった。

20日 13:27、彗星課の村岡幹事より同じく oaa-comet ML に「C/2009 R1 に非重力運動が見られ始めました。…原初軌道は、+0.000017 +/-0.000005 となり、遠日点距離は 10 万 AU を超えてしまいます！」とのコメントと改良軌道要素が報告された。

25日 6:54、筆者から同じく「…C/2009 R1

を見ようと外に出ましたが、高度8度と低空のため外は建物に阻まれていましたので、自宅2階の書斎の東側の窓を全開し双眼鏡を向けて観測しました。25×100Bでは直ぐに確認できましたが7×50Bではバックが明るすぎて見えませんでした。薄明が進んで見る見るバックが明るくなり20分後の3時40分には見えなくなってしまいました。予報よりはやや暗く感じました」とのコメントと眼視観測報告をした。

26日0:41、高橋俊幸氏から、同じく「…6/25未明の観測を報告します。C/2009 R1(マックノート)は隣の建物から昇ってくるのを待って観測しました。光度は5.2等で、やや増光しているようです。明朝(6/26)は更に高度が下がるので、こちらの観測所でも捉えるのは厳しくなると思います」とのコメントと位置観測報告があった。

その後、6月25.77日UT、埼玉県上尾市の門田健一氏が25-cm反射望遠鏡でCCD全光度5.7等と観測したのが国内最後の観測であった。

☆ C/2010 L3 (Catalina)

6月15.30日UT、Catalinaスカイサーベイによって19.6等の小惑星状天体が発見された。小惑星センターの“NEOCP”に掲載された後、W. H. Ryan (Magdalena Ridge 天文台)や佐藤英貴氏(東京都大田区, RAS Observatory の25-cm反射の遠隔操作)ら CCD 位置観測者たちにより彗星状と観測された (IAUC 9153, 2010 June 16)。

16日20:57、IAUC 9153の発行に先立って、佐藤英貴氏(東京都大田区)は、oaa-comet MLに、「NEOCPに掲載されているRL2E588は彗星のようです。ただ、19等と暗いです」との案内があった。

○6月に発見されたその他の彗星

☆ P/2010 K2 (WISE) 5月27.18日UT、WISEによって天体が発見され、その後 J. V. Scottiら地上の位置観測者たちによって彗星状と観測された (IAUC 9150, 2010 June 4)。

☆ P/2010 L1 (WISE) 6月2.50日UT、WISEによって約20”コマと p. a. 180° に100”を超える尾のある彗星が発見された (IAUC 9151, 2010 June 8)。

☆ P/2010 L2 = 2002 LN₁₃ (LINEAR) 6月10.57日UT、WISEによってLINEARが2002年に発見した小惑星状天体2002 LN₁₃を発見した (IAUC 9152, 2010 June 15)。

☆ C/2010 L4 (WISE) 6月15.46日UT、WISEによって約15”のかすんだコマ、西に約30”延びた扇状の尾のある彗星が発見された (IAUC 9154, 2010 June 18)。

☆ C/2010 L5 (WISE) 6月14.29日UT、WISEによって視直径約30”で、西南西に160”延びた扇状の尾がある彗星がされ、小惑星センターの“NEOCP”に公表後、G. J. Garradd (Siding Spring) や佐藤英貴氏(東京都大田区, RAS Observatory, Moorook の0.40-m f/9.1 反射の遠隔操作)ら位置観測者たちにより彗星状と観測された (IAUC 9155, 2010 June 23)。

☆ C/2010 M1 (Gibbs) 6月22.22日UT、A. R. Gibbs は、Nt. Lemmon サーベイの1.5-m 反射により、3'.5のコマ、光度20.2-20.9等で、尾の見えない彗星を発見し、小惑星センターの“NEOCP”に公表後、R. S. McMillan と C. K. Maleszewski は、Kitt Peak のSpacewatch1.8-m f/2.7 反射で拡散状と観測した (IAUC 9156, 2010 June 23)。

その他明るい彗星は、C/2007 Q3 (McNaught),
C/2009 K5 (McNaught), 81P/Wild, 10P/Tempel,

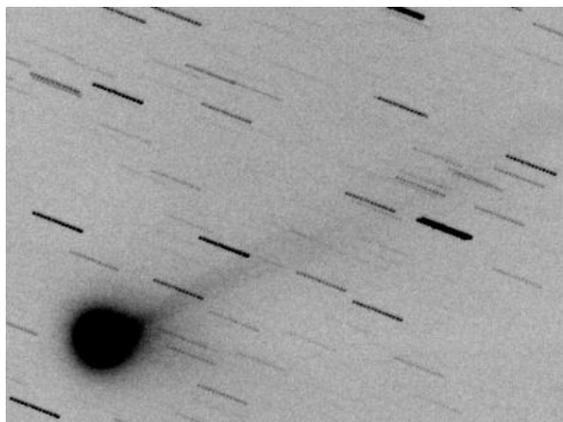
C/2005 L3 (McNaught), P/2010 H2 (Vales),
29P/Schwassmann-Wachmann 等であった。

● 眼視等観測報告

C/2009 R1 (McNaught) (写真 a. b)

2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
June	1.72	6.6	3.5'	6/	-	-	4/5	4/5	25×10-cmB	佐藤裕久	月明り
	1.72	6.4	-	-	-	-	4/5	4/5	7× 5-cmB	佐藤裕久	
	2.73	6.7	4	6	-	-	3/5	3/5	25×10-cmB	佐藤裕久	月明り
	2.73	6.5	6.5	6	-	-	3/5	3/5	7× 5-cmB	佐藤裕久	
	5.75	5.5	10	7	-	-	4/5	2/5	40×20-cmL	黒田修	
	5.75	5.3	5.1	5/	18'	280°	5/5	-	10× 5-cmB	永島和郎	①
	9.72	5.5	-	-	-	-	3/5	3/5	7× 5-cmB	佐藤裕久	②
	9.72	5.6	4	6	9	290	3/5	3/5	25×10-cmB	佐藤裕久	
	9.76	5.8	4.4	6	16	280	3-4/5	-	10× 5-cmB	永島和郎	幅せまの扇形
	10.75	5.9	6.4	6	19	295	4/5	-	10× 5-cmB	永島和郎	5日より暗い
	11.76	5.9	5.9	6	26	290	4/5	-	10× 5-cmB	永島和郎	①
	16.77	5.5	5.8	5	-	-	3/5	-	10× 5-cmB	永島和郎	薄明
	17.75	4.5	4	6	-	-	3/5	4/5	22×15-cmR	関勉	
	24.76	5.4	3	7/	-	-	4/5	4/5	25×10-cmB	佐藤裕久	薄明

- ① 尾は極めて淡く、直線状 ② 視野内のバックグラウンドが白っぽい



(写真 a) C/2009 R1 (McNaught) 2010, 06, 12
3h20.0m-40.5m (JST) exp. 60s×14 TOA130+CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 b) C/2009 R1 (McNaught) 2010, 06, 17
2h20.7m (JST) exp. 87s 300mm F2.8+ Pentax K10
岩手県奥州市水沢区 酒井栄氏